

# 重点目標一覧表

【平成27年度重点目標】

【平成28年度重点目標】

担当部局名	生活環境部
-------	-------

重点目標	資源循環型施設の早期建設に向けた地元住民との合意形成	重点目標	資源循環型施設の早期建設に向けた地元住民との合意形成	
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	達成状況・達成度	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等
1	資源循環型施設建設に向けた上田地域広域連合との連携及び地元自治会との合意形成 (1)第2回以降の意見交換会の開催、住民説明会の開催 (2)地元自治会等への地域振興策案の提案 し尿前処理下水道放流施設建設に向けた地元自治会との合意形成 (1)地元自治会を対象とした説明会の開催 (2)施設を理解していただくための先進地視察等の実施	(1)準備会を3回開催し意見交換会を再開 (2)庁内において地域振興策の検討を行う  (1)地元自治会に対し説明会開催を要請 (2)既存市内下水終末処理場の見学会開催	資源循環型施設建設に向けた上田地域広域連合との連携及び地元自治会との合意形成 (1)対策連絡会を構成する団体ごとの説明会や意見交換会の開催 (2)地元自治会等への地域振興策案の提案 し尿前処理下水道投入施設建設に向けた地元自治会との合意形成 (1)地元自治会を対象とした説明会の開催 (2)施設を理解していただくための先進地視察等の実施	(1)地元自治会との合意形成に向けた取組の推進 (2)地元自治会等に対し地域振興策を提案し地元の意向・要望を把握する。 (1)(2)施設整備に向けた地元自治会との合意形成に向けた取組の推進
2	重点目標 資源循環型社会の形成に向けたごみ減量化の推進 具体的な重点取組項目（箇条書き） ごみ処理広域化計画に定められた減量化目標を達成するためのごみ減量化推進施策の実施 生ごみの減量化 (1)「やさいまる」事業と乾燥生ごみの堆肥化実験の実施 (2)ごみ減量化機器等の普及促進 (3)大型処理機による生ごみ堆肥化モデル事業の実施に向けての検討 ごみ減量化、適正処理の啓発と推進 ごみ減量アドバイザー、エコハウス、「ごみ減量・再資源化キャッチャーズ」の活用による情報提供・啓発	達成状況・達成度 (1)乾燥生ごみ等回収量:896.6kg、ポイット交換数:58回 (2)補助機器数:998台、配布基材数:1,329個 (3)モデル事業の実施（モデル地区1箇所28世帯） 可燃ごみ処理量 H26年度比 377.5t（ 1.1%） ごみ減量化・再資源化キャッチャーズを活用した啓発用ポスター（500枚）の掲示	重点目標 資源循環型社会の形成に向けたごみの減量化・再資源化の推進 具体的な重点取組項目（箇条書き） ごみ処理広域化計画に定められた減量化目標を達成するためのごみ減量化推進施策の実施・検討 生ごみの減量化・堆肥化 (1)「やさいまる」事業の継続、「生ごみ出しません袋」の配布 (2)ごみ減量化機器等の普及促進 (3)大型処理機による生ごみ堆肥化モデル事業の実施と検証 ごみ減量化、適正処理の啓発と推進 ごみ減量アドバイザー、エコハウス、「キャッチャーズ」の活用による情報提供・啓発事業（ごみ集積所プレート等の設置）	期限・数値目標等 (1)通年、ポイット交換:200回、「生ごみ出しません袋」登録:100世帯 (2)通年、補助機器数:720台、配布基材数:1,600個 (3)モデル事業を検証し、普及拡大を検討 対前年度比 528 t（ 1.5 %）
3	重点目標 犯罪や交通事故のないまちづくりと消費者被害防止の推進 具体的な重点取組項目（箇条書き） 特殊詐欺や悪質商法などの被害防止対策と消費生活センターの機能強化 消費生活センター機能強化、出前講座、研修会・講演会、チラシ等による啓発  防犯意識の高揚と被害防止の推進 自治会及び関係機関等と協働した防犯パトロールの実施 子どもと高齢者の交通事故を防ぐための交通安全施策の推進  シートベルト、チャイルドシートの着用率の向上	達成状況・達成度 特殊詐欺非常事態宣言の発令、特殊詐欺防止対策本部の設置、特殊詐欺等被害防止連絡協議会の発足、出前講座(15回)、研修会等を実施 季節ごとの地域安全運動を実施 週末の駅前パトロールの他、祭礼時のパトロールを実施 園児・児童対象交通安全教室107回 出前講座8回実施 シートベルト着用率99.1%、チャイルドシート着用率79.3%	重点目標 犯罪や交通事故のないまちづくりと消費者被害防止の推進 具体的な重点取組項目（箇条書き） 特殊詐欺等被害防止連絡協議会の開催し、情報の共有化により被害の未然防止を図る 特殊詐欺等被害防止大会の開催 防犯意識の高揚と被害防止の推進 自治会及び関係機関等と協働した防犯パトロールの実施 子どもと高齢者の交通事故を防ぐための交通安全施策の推進  シートベルト、チャイルドシートの着用率の向上	期限・数値目標等 特殊詐欺等連絡協議会2回 特殊詐欺被害防止大会1回 地域安全運動 年4回実施 駅前パトロール26回、青パト210回、千本桜まつり5回、夏祭りパトロール2回 交通安全教室50回以上実施 高齢者及びウォーキング団体等へ夜光反射材の配布 シートベルト99%、チャイルドシート80%以上
4	重点目標 地球温暖化防止対策の推進と生活環境の保全 具体的な重点取組項目（箇条書き） 再生可能エネルギー利活用の推進 (1)住宅用太陽光発電、太陽熱高度利用システムの普及 (2)太陽光発電市所有施設屋根等貸付事業の推進  省エネルギーの推進 (1)防犯灯のLED化 (2)第三次エコハウスうえだに基づいた温暖化防止対策の推進 (3)緑のカフェ普及 (4)市民主体の普及啓発事業支援  環境保全のための施策の推進と環境放射線測定の実施 (1)全市一斉アルカリ駆除 (2)レジ袋削減・マイバック持参運動 (3)不法投棄パトロール (4)河川一斉パトロール (5)環境放射線測定	達成状況・達成度 (1)太陽光発電システム設置費補助308件、太陽熱高度利用システム設置費補助7件 (2)28年度太陽光発電上田市所有施設屋根等貸付事業の対象施設を四中に選定した。 (1)防犯灯のLEDへの交換3,008灯、新設194基 (2)夏冬の節電目標を達成(3)緑のカフェ93件 (4)うえだ環境市民会議の活動支援(総会1回、清掃活動3回、企画会議6回、環境イベント3回) (1)アルカリ駆除(人数4,062人、駆除量3,771kg) (2)マイバック持参率64.3%(3)不法投棄パトロール(1,234回) (4)河川一斉パトロール(2回)(5)環境放射線測定(62回)	重点目標 地球温暖化防止対策の推進と生活環境の保全 具体的な重点取組項目（箇条書き） 公共施設のCO2排出量削減に向けた取り組みの推進 (1)地方公共団体カーボンマネジメント強化事業を活用した低炭素化の手法の検討 再生可能エネルギー利活用の推進 (1)住宅用太陽光発電、太陽熱高度利用システムの普及 (2)太陽光発電市所有施設屋根等貸付事業の推進 省エネルギーの推進 (1)第三次エコハウスうえだに基づいた温暖化防止対策の推進 (2)緑のカフェ普及 (3)市民主体の普及啓発事業支援 環境保全施策の推進 (1)全市一斉アルカリ駆除 (2)レジ袋削減・マイバック持参運動 (3)不法投棄防止パトロールの実施 (4)河川一斉パトロールの実施	期限・数値目標等 (1)地方公共団体カーボンマネジメント強化事業に応募し、実現可能性調査を実施  (1)太陽光300件、太陽熱10件 (2)三中及び本原小管理棟の屋根貸しを検討  (1)夏・冬の節電対策実施 (2)緑のカフェ150件以上 (3)会議等の支援  (1)6月 (2)持参率60%以上維持 (3)1,150回以上 (4)2回
5	重点目標 市営住宅の環境整備と使用料の収納率の向上 具体的な重点取組項目（箇条書き） 市営住宅の住環境整備の推進及び2階建以下低層住宅の整備方針の検討 (1)給湯器・浴槽設置事業の実施 (2)耐震化に向けた課題整理 住宅使用料の収納率の向上 (1)現年度分収納率 95%以上 (2)滞納繰越分収納率 前年度実績12.09%以上 誠意が見られない滞納者に対する積極的な取組	達成状況・達成度 (1)中丸子団地1棟24戸を整備【再掲:丸子地域自治会C】 (2)耐震化における課題の整理 (1)3月末時点収納率 現年度分見込み 95.5% (2)3月末時点収納率 滞納繰越分 15.14% 催告書、連帯保証人への依頼書等の送付、明渡請求訴訟2件を実施（勝訴1件、和解1件）	重点目標 市営住宅の環境整備と使用料の収納率の向上 具体的な重点取組項目（箇条書き） 住環境整備の推進及び市営住宅等長寿命化計画（仮称）の検討 (1)給湯器・浴槽設置事業の実施 (2)住宅整備の方針（素案）を検討 住宅使用料の収納率の向上 (1)現年度分収納率 95%以上 (2)滞納繰越分収納率 過去3年間の実績の平均以上 誠意が見られない滞納者に対する積極的な取組	期限・数値目標等 (1)中丸子団地2棟36戸(継続)【再掲:丸子地域自治会C】 (2)住宅整備方針の素案を作成 (1)95%以上 (2)12.4%以上 催告書、連帯保証人への依頼書等の送付、法的措置を視野に入れた取組

評価基準 [ : 目標を上回る達成 ] [ : 目標どおり達成 ] [ : 目標未達成の部分あり ] [ x : 全て目標未達成 ]

市長指示事項	市長指示事項
・資源循環型施設の早期建設に向けた地元住民との合意形成、ごみ減量化については引き続き誠意を持って取り組み、職員個人もごみ減量化の意識を心がける取り組みをすること。・「やさいまる」事業、大型生ごみ処理機の普及は一日も早く稼働できるよう努力すること。・防犯協会、交通安全協会の一本化に向けたサポートをすること。・住宅使用料の収納率向上は、課題はあるが引き続き取り組むこと。・市営住宅の整備方針は課題と手法をよく検討すること。	・他市のごみ減量化についても研究すること。・市職員や広域連合職員のごみ減量の取り組みについても公表すること。・お湯等を活用したバイナリ発電について研究すること。・し尿前処理施設下水道投入施設の建設に向けては、各課題に対して粘り強く取り組むこと。・消費者被害については、協議会を中心に連携して減少するよう取り組むこと。